

そ う ふ う

爽 風



発行 社会福祉法人そうふう会

2016 年秋号

巻頭言

社会福祉法人そうふう会 理事長 山 田 義 昭

「相模原事件」をどう思いましたか

7月に悲しい事件が起こりました。4月の地震とは違った「恐怖」感を味わいました。テレビのニュースで、また虐待事件の報道かなと思ったら、全然、違っていました。何人がなくなりました。何人がケガを負って病院に搬送されています。のコメントと共に犯人は26歳の男性で、元、施設の職員であること。近辺で逮捕されたこと。

あまり思い出したくもありませんね。でも、1週間もしたら新聞の報道もほとんどなくなり何もなかったよう。

後味の悪さ。「なぜ？」がいっぱい残った状態です。解説はいろいろされますが、「なぜ、そんなことをしたのか」「できたのか」。答えは出ていません。犯人をここまで追い詰めたものは何だったんでしょう。

最近、他法人の職員と大声で「けんか」をしてしまいました。後味が悪いです。

★社会福祉法人そうふう会のホームページ。法人の事業内容、各事業所の活動内容など発信しています。 www.byus-co.com/ ぜひごらんください！

社会福祉法人そうふう会



♪ 事業所トピックス ♪

サンシャインけやき創立20周年記念旅行

今年4月で20周年を迎え、記念旅行を計画しました。

スタッフ2名が、佐賀県出身で、折に触れ「有明海」「むつごろう」「竹崎カニ」「チャンポン」などが話題にのぼり、いつか皆で行けたらいいね！と願っていたことが実現できました。

少し遠いけど、7月8日～7月10日まで2泊3日佐賀ツアー



初めて九州新幹線「さくら」に乗り、博多から特急「かもめ」に乗り換え、約5時間かけて肥前鹿島に着きました。皆、初めての場所、期待と不安でドキドキ。

ところが、どしゃぶりの大雨が出迎えてくれ、むつごろうで有名な有明海も視界に入らず、1日目の旅館に到着。アンティークな造りの旅館で、有明海が目の前に広がる部屋など、各部屋で造りが違うおしゃれな旅館でした。

温泉に入り、それぞれに選んだ浴衣を着て、新鮮な魚・カニなどのごちそうを食べ宴会です。メンバーたちのカラオケ、保護者のカラオケ、サプライズで、スタッフの地元の同級生の方々が佐賀の踊りを披露して、気分も最高潮。

20年続けられたのも、地域の方々のご支援、また保護者の支えがあったからだとの思いを強くしています。

念願だった佐賀へ、メンバー7人 保護者5人 スタッフ6人 合計18人全員行けたことがとても嬉しく思います。

2日目には、雨も収まり、いい天気にも恵まれ、わさび苑・祐徳稲荷神社へと観光をし、お土産をどっさり買い、思い出に残る旅行でした。



サンシャインけやきメンバー 山田澄代

ふれ愛たかつき



8月12日(金)
JOYJOYセンター街店で
♪カラオケ大会を開催しました～♪

みんなレパートリーが多いのねえ～
マイクの取り合いになるかと思ったら
順番に仲良く一人3曲ほど歌えて
ご満足の様子。

9月6日(火)
作業所交流会として神戸どうぶつ王国へ行ってきました。



集合写真をパチリ☆
迫力満点のバードパフォーマンスショー
おりこうさんのドックショーにわくわく！
みんなと～っても良い顔していますねえ(^ ^)
楽しかったですねえ♪帰りのバスの中はみんな
ぐっすりzzzzzz

とってもかわいい！
レッサーパンダちゃんを近くで
見てドキドキ

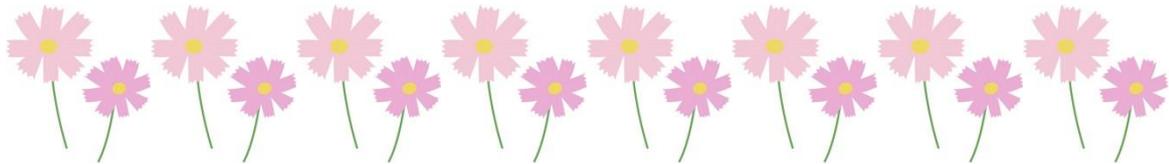


バイアスカンパニー

バイアスカンパニーの今年度のテーマは、「外部販売に力を入れ利用者さんへの工賃を上げる！」で、毎月なにがしかの外部販売へ出かけています。外部販売は不慣れなことで、要領よく出来ないことや暑さなどのしんどさもありますが、出かけるごとに課題が見えたり、お客さんとのふれあいが出来、自主製品製作へ向けてのモチベーションが上がったりと良いこともたくさんありますし、何せ少しでも収入が得られます。これからもメンバー・スタッフ協力して頑張っていこうと思います。

6月から始めた日曜営業ですが、今はまだ平均4名~6名程の利用で経過しており、他の曜日に比べて、ひっそりとした雰囲気の中で活動しています。でも、またその雰囲気も良いもので、一人ひとりがそれぞれに淡々と自分の仕事をこなす様子が良いです！。

たなべ



ひろがりはうす

ひろがりはうすのある八幡町6番は、静かな住宅街の真ん中にあります。事業所が面している道路は細い道ですが、府営住宅や国道170号線側とスーパーや学校などを結ぶ通り道で、人通りもまあまあ。その環境を利用して、晴れた日のひろがりはうすの軒先では、バザー品を並べてのガレージセールを開いております。大々的な宣伝はしていませんが、通りがかる人の目に触れ続けるうちに、常連のお客様も増えてきました。お目当ての品も陶器、マスコット、本、衣類などなど、お客様によってさまざま。提供くださるお客様もいらしてくださいませ。閉所後にそっと玄関先に置いて行ってくださる方、蔵書の漫画を時々届けてくださる方（売れたのを見計らって）、回収のお声掛けもいただき、何人かでかけつけ運んだりもします。地域の中で仕事をし、物のやり取りを通じてたくさんの接点が生まれていきます。大切な売上げは、運営のために役立たせていただいています。ありがとうございます。

まつざき

きらきら

今年の慰安旅行は、北か南かと悩んで。福井県の芦原温泉に決定しました。

予定は「芝政ワールド」「福井県立恐竜博物館」等々。9月は台風の心配がある中、出発の朝、7時に暴風警報。雨も降り始めてメンバーの送迎からがスタートになった旅行。

電車の遅れもなく芦原温泉に到着。さすがに「芝政ワールド」でのアトラクション、夕日は無理と諦めて、越前松島水族館に変更。足元がガラス張りの水槽や生き物達との距離が近い水族館、天候が台風の接近を感じるようになったので急いでホテルへ移動。

夕食は今年もバイキング(朝食もバイキング)。夕食を終えて20時頃には台風の影響もなくなり一安心。

2日目は「福井県立恐竜博物館」、ローカル線での移動ものんびりしていて都会では感じる事の出来ない時間でした。恐竜博物館も昨年は恐竜ブームもあり90万人の来場者数。素晴らしい施設で楽しむ事が出来ました。

「秋の野外交流会」「慰安旅行」と9月の大きな行事が終わり、10月は、運動会、バザーの商品作りと販売と注文も多くなり忙しい日々が待っています。



第2回法人交流会が開かれました。

6月25(土)第二回の法人交流会を実施しました。

昨年夏も、それぞれの事業所でどのような方々が働いていらっしゃる、どのような活動をしているのか、お互いに交流も踏まえて知る機会を持つということで交流会を実施しました。

今回は各事業所がどのような活動をしてきたのか報告をさせていただき、最後に交流の時間も持つようになりました。

各事業所の出し物の時間ではスピーチ、歌の合唱、ダンス、パフォーマンスと個性に合わせて様々な演目で会場全体が盛り上がりました。

また来年度も計画していきますので、皆さんの参加をお待ちしています。

バイアスカンパニー 中井

事業所紹介第4回

<ひろがりはうす> (地域活動支援センターⅢ型)

「ひろがりはうす」は、障害者の地域での働く場・生きる場として、1986年、高槻市八幡町に開設されました。今年で30年です。



80年代の当時、地域での自立生活運動に取り組む障害当事者の運動があり、その仲間や支援者らで、地域での拠点となる場を作り出そうという取り組みの中から、「ひろがりはうす」という場が構想されました。身体、知的、視覚、聴覚、精神障害の人、働いている人在宅の人、その家族や支援者、学生も社会人も、よくこれだけそろったなというくらい日々集まっては、生活や労働の問題、子育てや教育のこと、交流のイベントづくり等々に取り組み、様々な地域団体の協力を得る中で、かなり大風呂敷なスタートを切ってしまいました(笑)。今では考えられない状況ですが、その頃の面白い特徴は、「どこからどこまでがひろがりはうすの人かわからない」状態にあったことだと思います。



そんな中でもやはり中心となる事業をということで、働く場としてのリサイクルショップの運営や作業活動の開拓に取り組み、1989年に高槻市より無認可作業所としての行政助成が認められるに至りました。

集っていた人々もそれぞれの行き先を独自に開く中、90年代には知的障害の人を中心とした「作業所」へと、形を整えていきました。当初からの思いもあり、できるだけ、「作業所らしさ」から離れようとの努力というか逃げというか、あれこれ手を打ちながら、メンバーがその人らしく働き活動することを「作業所だから」と枠をはめられないように…してきたつもりです。

その後福祉制度の利用のありかたも、措置から契約にかわり、支援費制度、自立支援法、総合支援法と変遷する中、法の外にあった無認可作業所は、支援法に基づく事業所として統合吸収あるいは拡大しての再整備に向かうことになりました。私たちはできるだけこのままの規模とスタイルを維持することを選択し、2011年から高槻市の地域生活支援事業の一つである「障害者地域活動支援センター（Ⅲ型）」の事業所として、再スタートをきりました。現在定員7名の方が通所利用をされています。オリジナル製品の制作販売や企業・行政からの受注による作業を中心に、レクリエーションやスポーツ、生活実習などに取り組んでいます。



小さな事業所ですが、他の事業所、団体の方との共同のイベントにも積極的に出かけ、地域福祉を担う拠点として人と人とのつながりを広げることも、おおきなしごとの一つとして取り組んでいます。

(ひろがりはうす 松崎)

「広告」

『利用される方、大募集中』

地域活動支援センター「ひろがりはうす」では、ご利用いただく方を募集しています。見学随時受付中です。

電話ファクス：072-675-2678

メール hi-house@room.ocn.ne.jp

NEWS NEWS NEWS

わたしたちの動き〈6月～10月〉

- 6/25（土） 法人総会・交流会
- 7/14（木） 法人事業所会議
- 7/28（木） 法人職員研修「虐待防止法について」
- 9/08（木） 法人事業所会議
- 10/13（木） 法人事業所会議

イベント参加

夏季の主なイベント・出店参加は、水道祭、本澄寺バザー、大阪ガスバザー、さにすぼ夏祭り、芝生団地夏祭り、プールレクリエーション、ゆうあいセンター夏のふれあいデー、ゆうあいセンター野外交流会、高槻支援学校販売、高槻市障がい児者スポーツ教室、ふれあい運動会、ふれあいひろば、等々でした。

出店・参加のお誘い、またご来場ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

編集後記

暑い夏と長い雨の後。気が付けば秋です。広報誌発刊にもたついている（すみません）間、大きな地震があり大雨があり、「何十年にいちど」のことが、半年のうちに次々と起きていました。自然現象だけではありません。障がい者施設に暮らす人たちに対し、ひどいことをする人間もいました。あのような考えを育ててしまう土壤に私たちも地続きでいるのだということを痛感させられました。「障害者をひとかたまりにする」「障害者を排除する」は同じコインの裏表？私たちの社会はまだこんなところにいますね。広報誌に目を通していただきありがとうございました。

（ひろがり 松崎）

社会福祉法人そうふう会広報誌『爽風』（そうふう）第4号 2016年11月発行

社会福祉法人そうふう会 高槻市若松町7-15 栄ビル2F

きらきら 高槻市辻子2-16-18

サンシャインけやき 高槻市南庄所町17-25-101

バイアスカンパニー 高槻市若松町7-15 栄ビル2F

ひろがりはうす 高槻市八幡町6-4

ふれ愛たかつき 高槻市城北町2-1-18 ミング阪急高槻2F